

令和3年度第2回水道水質検査法検討会 議事要旨

1 日時

令和4年2月4日（金）13：30～16：30

2 開催方法

オンライン会議

3 出席者（敬称略）

委員 五十嵐良明（座長）、小坂浩司、小林憲弘、神野透人、鈴木俊也、高木総吉、
中村弘揮、林幸範、広木孝行、宮田雅典
事務局 横井三知貴、籠田大介、金崎隆宏
（以上、厚生労働省医薬・生活衛生局水道課水道水質管理室）

4 議題

- （1）検査方法告示の改正について
- （2）残留塩素検査方法告示の改正について
- （3）その他の検査法の改正について
- （4）その他

5 議事

（1）検査方法告示の改正について

「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」（平成15年厚生労働省告示第261号）に関して所要の改正を行うことについて、令和3年12月7日から令和4年1月11日までの間、意見募集を行った。意見募集で寄せられた意見に対する対応方針を検討した。検査方法告示及び関連する通知を改正することが了承された。

（2）残留塩素検査方法告示の改正について

「水道法施行規則第十七条第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める遊離残留塩素及び結合残留塩素の検査方法」（平成15年厚生労働省告示第318号、以下「残留塩素告示」という。）に関して所要の改正を行うことについて、令和3年10月27日から令和3年11月25日までの間、意見募集を行った。意見募集で寄せられた意見に対する対応方針を検討した。意見募集時の残留塩素告示改正案から一部記載内容を変更し改正すること、及び関連する通知を改正することが了承された。

（3）その他の検査法の改正について

○水質管理目標設定項目の検査方法の改正について

残留塩素告示の改正に関連し、水質管理目標設定項目16 残留塩素の検査方法について検討を行い、以下の通り改正することが了承された。また、水道水質基準逐次改正検討会においてオキソン体も測定対象とすることとされたメチダチオン（DMTP）について検討を行い、以下の通り改正することが了承された。

- ・目標16 残留塩素の検査方法に携帯型残留塩素計測定法を追加すること。
- ・メチダチオン（DMTP）オキソン体の検査方法として妥当性が確認された別添方法20の2について、原体の濃度とオキソン体の濃度を原体に換算した濃度を合計して算出するため所要の改正を行うこと。また、現時点で妥当性確認を行っていない別添方法5については、原体のみの測定に限った検査方法として扱うこと。

○農薬類検査方法の統合方針について

農薬類の検査方法を整理するため、今後、同一の手法による検査方法の統合をしていく方針を定めた。令和4年度は別添方法5と別添方法5の2（固相抽出ーガスクロマトグラフィー質量分析計による一斉分析法）の統合を検討することとなった。

以上